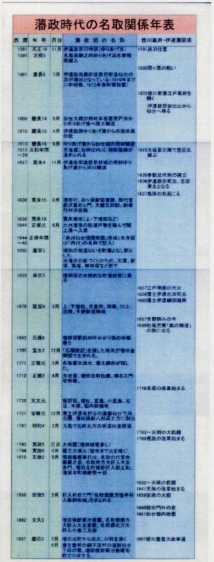
藩政時代の名取

藩政期の名取市域は、伊達藩領内南御郡の名取郡南方の北部を占めて増田・田高・手倉田・上金田・下金田、閖上・小塚原・牛野・大曲・高柳、下増田・杉ケ袋、飯野坂・植松・本郷・板内、塩手・笠島・北目・小豆島、川上・吉田・熊野堂の23ケ村にあたります。

また、当時市域のほぼ中央を南北に江戸往還の奥州街道が建設されて、増田には宿駅が置かれ街道と宿場町を中心に、伊達藩の直轄地として藩や仙台城下へ米などご食糧提供の役割を担い発展してきました。

さらに、海岸の閖上浜は仙台領の外港としての閖上湊、そして内川（木曳堀、後の貞山運河）は米や材木輸送に重要な役目を果たしていました。

I-1



藩政時代の名取関係年表

西暦	和暦	年	月日	藩政関係事項	他の風物・伊達藩関係
1587	天正	15	11月	伊達政宗が南奥州の諸城を攻略。	1591 豊臣秀吉
1594	文禄3			名取郡郡代の中心地を増田に移動。	
				増田城の築城。	
1601	慶長6				1600関ヶ原の戦い
		1月		伊達政宗の領国検地開始。仙台城の天守閣完成。「仙台藩知行帳」（1615年）、「伊達家御知行帳」（1636年）作成。	
				「伊達家御知行帳」（1636年）作成。	
1609	慶長14	9月		仙台大橋の開通。名取郡内の諸寺・諸社の修復・建立開始。	1609薩摩藩の琉球侵攻
					1609徳川家康江戸幕府を開く
1610	慶長15	4月		伊達政宗が仙台城の石垣の築造開始。	
1613	慶長18	9月		仙台城下町の整備が始まり増田が宿駅に。	
1613	天正40年			「支倉常長」が出帆（1614）。慶長遣欧使節派遣。	1613支倉常長が海外で洗礼を受ける
1614					
1617	元和4	11月		伊達政宗領国検地が開始。	
				名取郡郡代が増田に移動。	
1626	寛永13	3月		増田町、閖上湊設定。新町完成。増田に新町が、大曲に高柳、高柳に牛野宿場。	1626参勤交代制の確立
					1630徳川家光、忠長兄弟を流る
1630	寛永19				1631鎖国の完成に
1644	正保1	6月		「奥州道中絵図」作成。「仙台藩領国絵図」作成。	
				六大寺院の伽藍等整備。七堂伽藍の再建。	
1644	正保年間～1648			「奥州仙台領国絵図」作成（大名絵図の作成の先駆け）。	
1655	慶安2			増田の宿場から新町通りに移る。	
				「名取郡郡代帳」作成。「大河原、白石、角田、柴田郡郡代帳」作成。	
1659	承応3			藩領内の木曳堀の開通開始（～寛文2年）。	
					1657江戸明暦の大火
					1658第三代藩主綱宗隠居
1670	寛文10	1月		上・下増田、手倉田、田高、川上、北目、牛野宿場町。	1660幕府、「高札禁止」
					1671幕府、山中
					1680伊達政宗「高札禁止」
1693	元禄6			増田宿駅の中央から現在の場所に移る。	
1705	宝永2	12月		江戸開設記述（詳しい地名が藩領内全域に及ぶ）。	
1711	正徳元	1月		名取郡大洪水。堤防修復が開始。	
1719	享保4	4月		宿駅、増田宿駅設置。閖上湊が開港。	1716生類の憐愛終わる
1735	天文元			塩手町、植松、笠島、小豆島、北目、本郷、板内郷編成。	
1737	寛延2	12月		増田宿駅の中央から現在の場所に移る。	
				「名取郡郡代人数帳」作成。「名取郡郡代人数帳」作成。	
1767	明和4	3月		大曲・牛野宿駅が高柳宿駅に移る。	1723一天明の大飢饉
					1749藩政の改革始まる
1780	安永9	2月		名取郡「郡村帳」作成。	
1784	天明4	5月		増田大洪水（堤防修復）。	
1810	文政3	8月		増田宿駅、高柳宿駅、牛野宿駅、高柳宿駅、杉ケ袋宿駅、飯野坂宿駅、植松宿駅、笠島宿駅、北目宿駅、小豆島宿駅、本郷宿駅、塩手宿駅、閖上宿駅、増田宿駅、田高宿駅、川上宿駅、手倉田宿駅、上金田宿駅、下金田宿駅、杉ケ袋宿駅、飯野坂宿駅、植松宿駅、板内宿駅、塩手宿駅、笠島宿駅、北目宿駅、小豆島宿駅、本郷